

「地域包括支援センター等職員研修」 （開催日：令和6年2月16日）

【プログラム】 * 予定

○講義（前段） 約50分

過去の災害を振り返り、災害時における包括の存在の重要性をBCPの視点から考える

○グループワーク（意見交換）・発表・講師との質疑応答 約80分

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会作成した「地域包括支援センターにおけるBCP策定の考え方」より、「災害対応点検シート」「優先業務チェックシート」等を使用します。

○講義（後段） 約30分

平時からの取り組みについて、災害時・避難時を想定したケアマネジメントと地域包括ケアについて考える

※ 後日配信は講義のみとなります

◆講師 加來 留（かく とどむ）

社会福祉法人 菊池市社会福祉協議会（熊本県菊池市） 事務局長 兼 事業課長

日本介護支援専門員協会 災害対策特別委員会委員（H23年6月～R1年6月）

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 BCP検討作業委員会 委員

（R4年6月～）

平成28年の熊本地震での災害支援や令和2年の熊本豪雨での災害支援対策室の設置協力など、被災地での支援活動の経験等により、全国各地で自然災害対応に係る研修、机上訓練を担当されています。

今回の研修では、被災地での実体験を踏まえた講義と、ワークでは、シートを使用しながらBCP作成の疑問点など参加者からの質問にお答えいただきます。